

ボーリング柱状図

調査名 大野海岸早時地区海岸 海岸保全事業に伴う業務委託

ボーリングNo. 5 1 3 2 3 2 6 3 0 0 0

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	Bor. No. 7		調査位置	広島県廿日市市大野早時			北緯	34° 18' 02.6874"						
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所			調査期間	平成29年12月 4日～平成29年12月 5日			東経	132° 17' 29.7784"					
調査業者名				主任技師				現代理人	コ 阿 監 定 者					
ボーリング責任者				現場				コ 阿 監 定 者	ボーリング責任者					
孔口標高	CDL	2.80m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 270° 西 0° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦D1-B	ハンマー落用器具	半自動型	
総掘進長	10.00m		度				エンジン	ヤンマーNFD12			ポンプ	東邦BG-3B		

標尺	層厚	深	柱状	土質	色	相対	相対	記	粒度試験による土質区分	標準貫入試験				原位置試験	試験採取	室内	掘	
										深	10cm毎の	打撃	N					
m	m	m	図	区分	調	度	度	事		度	度	度	度	度	度	度	度	
2.75 2.60	0.05 0.15	0.05 0.20	コンクリート 砕石	灰				コンクリート。 路盤材。φ10~20mmの角礫。 盛土。 中~粗粒のまさ土。 φ5~50mmの垂角礫や角礫が不規則に混じる。 礫の基質は風化した花崗岩。	12/4 2.50	1.15 1.45 2.15 2.45	1 2 1 1	2 3 16 16	6 30 2 30	6 2	1.15 1.45 2.15 2.45	P-1 P-2	物理	12/4
-0.20	2.80	3.00	礫混り砂質土	淡褐				埋土。 中~粗粒のまさ土。 φ5~30mmの角礫や垂角礫が不規則に混じる。 掘削水は断続的に透水する。		3.15 3.45 4.15 4.45	2 2 2 3	2 2 4 4	6 30 9 30	6 9	3.15 3.45 4.15 4.45	P-3 P-4	物理	
-1.90	1.70	4.70	礫混り砂質土	淡褐				埋土。 中~粗粒のまさ土。 φ5~30mmの角礫や垂角礫が不規則に混じる。 掘削水は断続的に透水する。		5.15 5.45	2 1	2 2	6 30 5 30	5	5.15 5.45	P-5	物理	
-3.10	1.20	5.90	シルト質砂	暗灰				シルト分を含んだ細粒砂。 所々、貝殻の細片やφ5mm以下の小礫が点在する。		6.15 6.45	4 4	5 5	13 30 13 30	13	6.15 6.45	P-6	物理	
-5.30	2.20	8.10	シルト混り砂	淡青灰				細~中粒砂。 少量のシルト分を含む。 貝殻の細片が点在する。 φ5mm以下の小礫が点在し、深度7.80mから未分解の腐植物(木片)が混じる。		7.15 7.45 8.15	5 5 22	6 7 28	18 30 50 19	18	7.15 7.45 8.15	P-7 P-8	物理	
-7.20	1.90	10.00	風化花崗岩	淡青褐				軟岩1。 中~粗粒のまさ状もしくはφ3~6mmの風化した角礫状。 所々、塊状をなすが指先で押えると礫状又はまさ状に崩れる。 全体に角閃石の細粒化とカリ長石の軟質化が進む。石英はφ2mm程度の細礫状で残る。		8.34 9.00 9.10 10.00 10.04	50 50 50 4	50 10 50 4	50 50 50	50 50 50	8.34 9.00 9.10 10.00 10.04	P-9 P-10	物理	10/6